



平成 20 年 11 月 14 日

各 位

会社名 株式会社 茨城銀行
 代表者名 取締役頭取 溝田 泰夫
 問合せ先 総合企画部長 野口 稔夫
 (TEL. 029-231-3174)

平成 21 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 5 月 15 日の平成 20 年 3 月期決算発表時に公表いたしました平成 21 年 3 月期の単体及び連結の業績予想について、以下のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想数値の修正

(1) 平成 21 年 3 月期の個別業績予想の修正

(単位：百万円、%)

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	20,700	800	800
今回修正予想 (B)	20,900	510	250
増減額 (B-A)	200	△ 290	△ 550
増減率	0.9%	△ 36.2%	△ 68.7%
(ご参考) 前期実績(平成 20 年 3 月期)	21,885	1,623	888

※上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績はこれらの予想値と異なる結果となる可能性があります。

(2) 平成 21 年 3 月期の連結業績予想の修正

(単位：百万円、%)

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	21,000	800	800
今回修正予想 (B)	20,600	630	360
増減額 (B-A)	△ 400	△ 170	△ 440
増減率	△ 1.9%	△ 21.2%	△ 55.0%
(ご参考) 前期実績(平成 20 年 3 月期)	22,260	1,470	752

※上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績はこれらの予想値と異なる結果となる可能性があります。

2. 修正の理由

(1) 単体業績予想の修正理由

平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間(中間期)の業績は、世界的な金融市場の混乱による厳しい金融市場の影響を全般的に受け、資金運用収益が伸び悩んだことや投資信託販売が当初計画を下回ったことなどによりコア業務純益は当初計画の 94%程度の 14 億 77 百万円に止まりました。また、茨城県内において倒産件数が増加するなど、当行の主要な取引先である中小企業を取り巻く経済情勢が厳しさを増していることから、与信先に対する自己査定の更なる厳格化を図り、予防的に与信費用を計上したことにより、経常損失 1 億 73 百万円、中間純損失 5 億 55 百万円となりました。

平成 20 年 10 月 31 日に日銀の政策金利が引き下げられたことは、当行にとって、短期的には増益要因となると考えておりますが、長引く金融市場の混乱は依然として終息が不透明であり、更なる景気悪化も懸念されるなど、現在の当行を取り巻く収益環境は、当初の想定以上に厳しい状況にあり、好転までには相当の時間を要するものと考えております。

こうしたことから、当行の経営計画に掲げているコア業務純益は、当初の計画値 35 億円に対して約 88%程度の 31 億円にとどまる見通しであり、平成 21 年 3 月期の通期業績予想を、経常収益 209 億円、経常利益 5 億 10 百万円、当期純利益 2 億 50 百万円にそれぞれ修正いたします。

(2) 連結業績予想の修正理由

連結業績についても、上記の銀行単体の業績予想の修正を受け、経常収益 206 億円、経常利益 6 億 30 百万円、当期純利益 3 億 60 百万円にそれぞれ修正いたします。

3. 配当について

平成 21 年 3 月期の期末配当につきましては、平成 20 年 3 月期決算発表の際にお知らせした配当予想のとおり、1 株当たり 1 円の期末配当とさせていただきます。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】
総合企画部 主計広報グループ
横山、野溝
TEL : 029-231-3174 (直通)